

令和2年度(4月~6月) 日程表													Schedule																		
2020 4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	普通展示(浮世絵) 月百姿 PartⅢ (~4/12)													普通展示(浮世絵) 郷愁の風景—川瀬巴水(4/14~6/21)																	
	普通展示(東洋陶磁) 花のある風景 (~5/17)																														
	普通展示(陶芸) 表現を切り拓いて—十三代三輪休雪(三輪和彦)の陶造形 (~8/30)																														
	普通展示(陶芸) 萩焼 三輪雪雲の茶陶 (~4/12)													普通展示(工芸) いのちのかたち—山口県の工芸(4/14~6/21)																	
特選鑑賞室 葛飾北斎 風流無くてなぐせ 遠眼鏡(4/1~4/30)																															
茶室 沖 潤子「anthology」(アンソロジー) (4/4~2021/3/28)																															
第43回山口伝統工芸展(4/11~4/19)													※1																		
※1 特別展示 小原古邨と明治の花鳥画(前期:4/25~5/24)																															
2020 5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	普通展示(浮世絵) 郷愁の風景—川瀬巴水(~6/21)																														
	普通展示(東洋陶磁) 花のある風景 (~5/17)													普通展示(東洋陶磁) 白と黒 モノクロームのやきもの(5/19~8/30)																	
	普通展示(陶芸) 表現を切り拓いて—十三代三輪休雪(三輪和彦)の陶造形 (~8/30)																														
	普通展示(工芸) いのちのかたち—山口県の工芸(~6/21)																														
特選鑑賞室 鳥高齋栄昌 お高祖頭巾(5/1~5/31)																															
茶室 沖 潤子「anthology」(アンソロジー) (~2021/3/28)																															
特別展示 小原古邨と明治の花鳥画(前期:~5/24)													※2																		
※2 特別展示 小原古邨と明治の花鳥画(後期:5/27~6/21)																															
2020 6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	普通展示(浮世絵) 郷愁の風景—川瀬巴水(~6/21)													普通展示(浮世絵) うきよどうぶつ展(6/23~7/26)																	
	普通展示(東洋陶磁) 白と黒 モノクロームのやきもの(~8/30)																														
	普通展示(陶芸) 表現を切り拓いて—十三代三輪休雪(三輪和彦)の陶造形(~8/30)																														
	普通展示(工芸) いのちのかたち—山口県の工芸(~6/21)													普通展示(工芸) 表現をみつめて(6/23~8/23)																	
特選鑑賞室 葛飾北斎 富嶽三十六景 山下白雨(6/1~6/30)																															
茶室 沖 潤子「anthology」(アンソロジー) (~2021/3/28)																															
特別展示 小原古邨と明治の花鳥画(後期:~6/21)																															

● 休館日 ● 記念講演会 ● ギャラリー・ツアー ● ギャラリー・トーク

■ 記念講演会(聴講無料/当日受付着順)

日時 ● 4月25日[土] 13:30~15:00 (延期(但し、日時は未定))  
 演題 ● 小原古邨—雨の系譜 光の系譜  
 講師 ● 小池満紀子氏(中外産業株式会社 美術担当、国際浮世絵学会 理事)  
 会場 ● 講座室(座席数84席)

● ギャラリー・ツアー(担当学芸員による特別展示作品解説)

「小原古邨と明治の花鳥画」  
 日時 ● 会期中の毎週日曜日 11:00~12:00 (前期(5月24日まで)は中止)

■ ギャラリー・トーク(担当学芸員による普通展示作品解説)

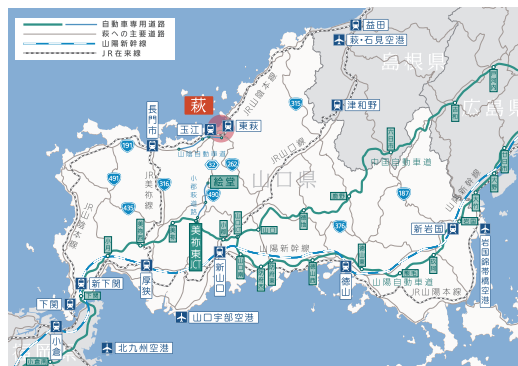
いずれも11:00~(30分程度)  
 4月25日[土]—いのちのかたち—山口県の王芸(中止)  
 5月9日[土]—郷愁の風景—川瀬巴水(中止)  
 6月13日[土]—郷愁の風景—川瀬巴水  
 6月27日[土]—表現をみつめて

※イベント詳細については美術館ホームページをご覧ください。  
 ※ギャラリー・ツアー、ギャラリー・トークへのご参加には観覧券が必要です。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月24日(日)までのイベントは中止・延期になりました。(4月2日現在)  
 ※臨時の休館やイベントを中止・変更する場合があります。詳しくは当館ホームページをご覧ください。  
 お問い合わせ TEL:0838-24-2400 URL:https://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/

■ 交通アクセス

【新山口駅】から  
 ●直行バス(スーパースター)約60分で萩明倫センター下車、徒歩約5分  
 ●防長バス(約95分)で萩バスセンター下車、徒歩約12分  
 【山口宇部空港】から [萩・石見空港]から  
 ●萩近鉄タクシー(乗合タクシー)約70~80分(利用前日までに要予約)  
 ●「中国自動車道」美祿東JCT経由、「小郡萩道路」給室ICから約20分  
 ●「山陰自動車道」三見ICから約10分、国道191号沿い



山口県立萩美術館・浦上記念館 Hagi Uragami Museum  
 〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1  
 TEL0838-24-2400 FAX0838-24-2401  
 URL https://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/

季刊「萩」令和2年4月15日通巻第95号 ●発行/山口県立萩美術館・浦上記念館 ●山口県萩市平安古町586-1



SPRING ISSUE 2020

95

題字は吉田松陰筆跡

小原古邨「紫陽花に雀」多色摺木板画 中外産業株式会社 原安三郎コレクション

HAGI URAGAMI MUSEUM



# 明治期花鳥画と軌跡 南画系花鳥画の

山口大学名誉教授 菊屋 吉生

このたび開催される「小原古邨と明治の花鳥画」展は、明治から大正、昭和期にかけて花鳥木版画の分野で活躍した小原古邨に焦点をあて、とくに明治後半期に制作された彼の花鳥木版画を中心に展示すると同時に、さらに興味深い点は、この明治後半期の日本画壇で活躍した花鳥画家たちの作品も同様にその展示のラインナップに加えていることである。古邨の花鳥木版画が、ここに展示した画家たちの影響、あるいは同時代意識のもとに成り立っていることを、それらの花鳥画作品によって示そうという意欲的な内容となっているわけだが、実はこの展示される明治期の

花鳥画家たちの顔ぶれがきわめて面白いのである。

古邨は鈴木華邨という画家に師事したが、師の華邨は幕末・明治初期の歴史画の大家である菊池容齋に学んだ画家であった。ただ華邨が画家として目指したのは、師が得意とした歴史画ではなく、花鳥画の分野において新境地を打ち立てようとしたことであつた。そこで華邨が自らの花鳥画風形成のベースにしようとしたのが、京都が発祥の地である円山四条派の花鳥画描法だった。これは同じ容齋門下で、やはり明治期花鳥画の大家となっていく渡辺省亭とも軌を一にするものでもあつた。こうした師・華邨、同

門の省亭らの作品とともに古邨の花鳥木版画を並べると、その画風の共通点是一目瞭然であるし、さらに京都の幸野棟嶺、森寛齋、今尾景年、都路華香、久保田米僊、東京の川端玉章らの明治期の花鳥画作品も加えて見比べてみれば、その円山四条派の画風が古邨の花鳥木版画に直接的に流れ込んでいることは、この展覧会を観れば、さらに明瞭にわかるのである。

ただここで注意したいのは、この展示に瀧和亭、野口小蕨（左図）といった南画系画家たちの花鳥作品も加えられている点である。和亭はその師が荒木寛快、片桐桐陰といった谷文晁、さらには渡辺華山、椿椿山らの画系に繋がる江戸南画の流れを受けた画家であり、一方の小蕨はその師が日根対山という京都南画の大家であつた。そしてここで注目したいのは、18世紀末から19世紀前半にかけてのこの南画系花鳥画の実態なのである。

この時期、京都における円山四条派の花鳥画の変遷については、比較的これまでも多く展覧会が開かれ、関連する書籍も豊富で、その流れは広く理解されている。また一方の南画系花鳥画については、たとえば江戸南画における文晁から華山、椿山らに流れる中国清初の憚南田画風を摂取する花鳥画法などは早くから指摘、紹介されてもいる。問題は京都における南画系花鳥画の流れなのである。この流れについては、従来ほとんど展覧会も、美術史研究からも抜け落ちてきた部分なのだ。実は野口小蕨は、この江戸期における京都の南画系花鳥画を、近代へと繋げた重要

な女性画家といえるのだ。近年、この小蕨の画業に対する注目度が高まっている。大規模な個人展も開催され、彼女の画風形成のなかにある中国の明清絵画の学習の様相、さらには明治期美人画研究のなかでの上方（京坂地域）や東京画壇における近代美人画の成立に関して、小蕨の影響力も少なからぬものがあつたことはすでに指摘されている。実は私自身は、近代美人画の成立におけると同様に、あるいはそれ以上に、小蕨の花鳥画こそが、近世から近代花鳥画の成立における、重要な役割を担つたと考えている。そしてその彼女が確立しようとした近代花鳥画の基礎となる内容は、たしかに小蕨自身が実見したであろう当時日本にあつた中国絵画（花鳥画）の名品がもととなっていたが、その一方でそこにはしっかりと師の日根対山や、その周辺の上方面南画系画家たちから受け継いだ花鳥画風が基盤としてあつたと私はみるのだ。また、対山たちのさらに一世代上の19世紀初頭頃から京都で活躍した南画系画家たちの存在は、当時の京都の南画系花鳥画風を考える上では重要である。そのなかの主要な画家のひとりとして、後に長

州・萩藩のお抱え絵師ともなる小田海僊（1785～1862）がいた。海僊は22歳の時に、京都へ出て四条派の松村呉春に入門している。ここで彼の画風の特徴を詳しく述べるスペースはないが、その初期においては、四条派風の瀟洒で雅趣に富んだ作風を展開し、師の呉春同様、俳句を嗜み俳画風の洒脱な味わいをもつ作品も残している。ただ、やがて彼は京都の文人サークルの一員となり、頼山陽、田能村竹田らとも交友をもち、その画風も南画味を帯びてくるようになる。そして彼が描く花鳥画は、文人画的な水墨による雄渾な花鳥画もあるものの、着色の花鳥画は繊細な技巧と清麗な味わいを見せるものであつた。（右図）その画風は、四条派風の基礎をもちながらも、細部の描写は中国の花鳥画風、とりわけ憚南田風の没骨画風（輪郭線を排して描く）や、沈南蕨風の鈎勒画風（輪郭線を明確に描く）などが混在する和漢の折衷画法であつた。この南画系画家による和漢の折衷型花鳥画こそが、当時の京都において円山四条派風花鳥画と人気を二分したものであつて、海僊とともに山本梅逸、浦上春琴、中林竹洞らが独特な



小田海僊 花鳥図 天保5（1834）個人蔵  
『小田海僊展』図録（下関市立美術館 1995）より転載

文人サークルを形成して、共通する作画意識をもつた花鳥画（そして山水・人物画も）を描いていたのだった。

小蕨の師・対山は若い時代、海僊やその周辺の文人画家たちとも交流をもっていた時期もあり、大坂から京都移住後は海僊の弟子、中西耕石とも密接な交友をもつた。小蕨は間接的であつたかもしれないが、そうした19世紀初頭の南画系花鳥画家たちの描法をベースとしてもっていたといえる。また今回の出品作家である川端玉章も、円山派の中島来章の弟子でありながら、若い時代に小田海僊の薫陶も受けていた。こうした幕末期の南画系花鳥画家たちの流れは、小蕨や玉章らの花鳥画のなかに確実に息づきながら、明治期の近代花鳥画の一大勢力（とくに旧派系女流画家たちのなかに）として繋がっていったのであつた。

小原古邨の一連の花鳥木版画は、こうした幕末期花鳥画の多様で折衷的な様相を受け継ぐ明治期花鳥画を通過したなかで、誕生していったものなのである。



野口小蕨 柏に牡丹鶴・松に菊鶏図 毛利博物館蔵



# 明治の花鳥画

# 小原古邨と

Ohara Koson  
and The Bird-and-Flower Painting  
of The Meiji Period

2020年  
4月25日(土) → 6月21日(日)

休館日 ● 月曜日(5月4日、6月1日除く)、5月7日(土)、26日(火)  
開館時間 ● 9:00~17:00(入場は16:30まで)

前期、後期で作品の展示替えを行います。

前期 4月25日(土)~5月24日(日) 後期 5月27日(火)~6月21日(日)

会場 ● 山口県立萩美術館・浦上記念館 本館2階展示室

観覧料 ● 一般1,000円(800円)、70歳以上・学生800円(600円)、2回券1,500円

※( )内は前売り、および20名以上の団体料金。  
※18歳以下の方、および高等学校、中等教育学校、特別支援学校の生徒は無料。  
※身体障害者手帳、療養手帳、戦傷病者手帳、精神障害者保健福祉手帳の提示者とその介護者(1名)は無料。  
※前売券、2回券は、ローソンチケット(Lコード 61779)、セブンチケットでお求めになれます。

主催 ● 小原古邨展実行委員会(山口県立萩美術館・浦上記念館、読売新聞社、KRY山口放送)  
後援 ● 山口県教育委員会、萩市、萩市教育委員会  
特別協力 ● 中外産業株式会社



渡辺省亭「中謙鼓鶴左右牡丹菊之図」 絹本着色三幅対 明治後期  
鈴木華邨「桜鳩」 絹本着色 明治後期



小原古邨「蓮に雀」 大短冊判多色摺木版画 明治後期 中外産業株式会社 原安三郎コレクション  
小原古邨「紫陽花に雀」 大短冊判多色摺木版画 明治後期 中外産業株式会社 原安三郎コレクション

四季を彩る草花や樹木と愛らしい小鳥や小動物、身近な昆虫などを取り合わせて描く絵画を花鳥画といいます。小原古邨(1877~1945)は、日本画家の鈴木華邨に師事し、明治時代後半から花鳥画の版画を数多く手がけました。当初からその作品は欧米で高く評価されましたが、国内では古邨の作品を目にする機会もさほど多くありませんでした。近年ようやく再評価が行われ、にわかに国内の美術愛好家の注目を集めています。

日本人らしい繊細な感受性によって、身近な自然を詩情豊かに表現する古邨の花鳥版画。そこには江戸時代の浮世絵版画から継承する高度な木版技法が駆使されています。文明開化によって衰退の一途をたどる木版画家として、古邨の存在は意義深いものです。

本展覧会では、明治期に活躍した浮世絵師や日本画家による花鳥画、そして古邨の師である鈴木華邨、花鳥画の大家渡辺省亭などの日本画家による花鳥画をあわせて展示し、古邨とその時代の花鳥画の魅力をご紹介します。

## 萩美の春は、 超絶かわいい。



《青花月兔文罽耳角扁壺》  
朝鮮・朝鮮時代後期(18-19世紀)  
山口県立萩美術館・浦上記念館蔵



八木一夫《牛》  
日本・1973年  
兵庫陶芸美術館蔵



《灰陶加彩駱駝》  
中国・北魏時代(6世紀)  
山口県立萩美術館・浦上記念館蔵



宮川香山(初代)  
《浮彫蓮子白鶯點翠図花瓶》  
日本・明治時代前期  
岐阜県現代陶芸美術館蔵

# 大集合! やきもの どうぶつ展

ANIMALS IN CERAMIC ART EXHIBITION

2020年  
7月4日(土)~8月30日(日)

休館日 ● 7月13日(日)、20日(日)、27日(日) / 8月11日(火)、17日(日)、24日(日)

開館時間 ● 9:00~17:00(入場は16:30まで)

観覧料 ● 一般1,000(800)円 / 70歳以上・学生800(600)円

※( )は前売りおよび20名以上の団体料金。  
※18歳以下と高等学校・中等教育学校・特別支援学校の生徒は無料。  
※身体障害者手帳、療養手帳、戦傷病者手帳、精神障害者保健福祉手帳の提示者とその介護者(1名)は無料。  
※前売券は、ローソンチケット、セブンチケットにてお求めになれます。

主催 やきものどうぶつ展実行委員会(山口県立萩美術館・浦上記念館、毎日新聞社、tys テレビ山口)  
後援 山口県教育委員会、萩市、萩市教育委員会  
特別協力 エフエム山口



《緑釉犬》  
中国・後漢時代(1-3世紀)  
山口県立萩美術館・浦上記念館蔵



六代三輪喜楽《萩狸置物》  
日本・江戸時代後期  
山口県立萩美術館・浦上記念館蔵



《埴輪犬》  
日本・古墳時代後期  
出光美術館蔵



《藍三彩彫形碗枕》  
中国・唐時代(8世紀)  
山口県立萩美術館・浦上記念館蔵

はるか昔から私たち人間の生活は、動物たちと様々に関わりながら多様で豊かな文化を生み出してきました。動物たちの姿は、私たちに豊穰なるイメージをもたらし、自然の持つ不思議な力に対する思いや、長寿や富貴といった人々の願いや祈りに伴う吉祥的な意味とも結びつき、これまで様々な動物造形が創り出されてきました。本展覧会では、愛らしい身近な動物や想像上の動物など、立体造形作品や絵付作品も含め、やきものに表されてきた動物の姿を一堂に展示し、人々がこれまで動物たちをどのように見つめ、表現しようとしてきたのかを探ろうとするものです。東洋の古陶磁から近現代の陶芸作品まで、多彩なやきもの動物造形表現をお楽しみください。

### イベントのご案内

会期中、ワークショップやギャラリートークなどのイベントを行います。詳細については、決まり次第、当館ホームページや本展覧会チラシなどでご案内いたします。

### 関連行事のご案内

#### ● 記念講演会

「小原古邨一雨の系譜 光の系譜」  
日時: 4月25日(土) 13:30~15:00 [延期 但し、日程は未定]  
場所: 当館講座室 講師: 小池 満紀子氏  
中外産業株式会社 美術担当、国際浮世絵学会 理事  
※聴講無料 受付先着順

#### ● ギャラリー・ツアー

毎週日曜日 11:00~12:00  
[前期(5月24日)まで中止]  
担当学芸員が見どころを解説します。

#### ● 普通展示のご案内

「郷愁の風景—川瀬巴水」  
日時: 4月14日(火)~6月21日(日)  
休館日: 月曜日(5月4日、6月1日除く)、5月7日  
大正から昭和に活躍した木版画家、川瀬巴水の詩情あふれる風景版画をお楽しみください。(※P.5参照)

《お知らせ》新型コロナウイルス感染拡大防止のため前期(5月24日)までのイベントは中止・延期になりました。(4月2日現在)



浮世絵  
普通展示

## 郷愁の風景—川瀬巴水

令和2年(2020)4月14日(火)～6月21日(日)

かわせ ばすい  
川瀬巴水(1883～1957)は、幼少から絵を好み画家を志していましたが、本格的な画家修行は、かぶら き 鏑木清方きよかたに入門した27歳からでした。大正7年(1918)、同門の伊東深水が手掛けた木版画に魅了され、翌年には版元のわたなべしうざぶろう渡邊庄三郎の協力のもと、塩原に取材する三部作を発表して好評を得ます。

その後は、日本各地を旅してスケッチした風景とそこに暮らす人の営みを、情感豊かな木版画にして「昭和の広重」と称えられました。



川瀬巴水 馬込の月「東京二十景」 1930年 多色摺木版画

浮世絵  
普通展示

## うきよえどうぶつ展

令和2年(2020)6月23日(火)～7月26日(日)

特別展示「大集合! やきものどうぶつ展」の開催にあわせて、当館が所蔵する浮世絵版画のなかから、動物を描いた作品をご紹介します。

浮世絵版画に描かれた動物は、優美さや博物学的好奇心を帯びていたり、当時最大の娯楽であった芝居と絡めてコミカルに擬人化されたり、日常の一要素としてクローズアップされたりと、さまざまな個性を

もっています。これらの動物のなかには、想像上の生き物も含まれますが、どの作品にも動物に対する絵師たちの温かな眼差しが感じられます。当時の人々と動物との関わりにも思いを巡らせつつ、お楽しみください。

歌川国芳「心学稚絵得 猫と鼠」  
中短冊判錦絵 弘化期(1844～1847年)東洋陶磁  
普通展示

## 白と黒 モノクロームのやきもの

令和2年(2020)5月19日(火)～8月30日(日)

色の中には色みを持つ「有彩色」と色みを持たない「無彩色」が存在し、白色と黒色、そしてその中間の灰色は「無彩色」にあたります。色は明るさ(明度)によっても区分され、無彩色の最も明度の高い色が白色、逆に最も明度の低い色が黒色となります。明度の差が大きければ大きいほど、コントラストの効果で見やすさが増し、人間の視覚に対して強い効果を得ることが出来ます。

一見、単純な色と思われる白色と黒色ですが、やきものでこれらの色を作り出すためには工夫が必要で、時代や地域によって様々に試行錯誤されました。



白磁壺 朝鮮時代



白釉鉄絵草文筒形三足深鉢 元～明時代

本展覧会では、館藏品から清廉を感じさせる白色のやきものと重厚感を与える黒色のやきもの、さらには白と黒の合わさった明暗のやきものなど、種々豊かなモノクロームのやきもの作品の数々を紹介します。



渋谷英一 黒彩器-相- 2016年



普通展示  
工芸

# いのちのかたち—山口県の工芸

令和2年(2020)4月14日(火)～6月21日(日)

素材の物質性と親和しながら自己を一つの「かたち」へと結んでいく工芸的造形は、その技の熟達と洗練によって、素材が喚起する衝動力とともに「かたち」の背後に作り手が潜ませた思想や心象へと観る者を誘います。

このたびの展示は、山口県内に在住する7人の造形作家(三輪龍氣生<十二代三輪休雪>、調喜美子、中島大輔、野坂和左、古川巻、坂倉正紘、平井慎)の制作活動のなかから、作り手自身が素材との交感を手がかりとして、豊かな生命力を表現した作品を紹介します。作り手が、素材から生命の輝きというイメージをどのように引き出しているかを感じていただけると幸いです。



古川巻 《若香》 2013年 現在形の陶芸 萩大賞展Ⅲ 審査員特別賞受賞作

普通展示  
工芸

# 表現をみつめて

令和2年(2020)6月23日(火)～8月23日(日)

表現は作家からのメッセージです。

デザインを構成している形や色彩、模様や配置、また素材の選択に至るまで、作品には作家の意思が反映されています。そのため、表現手法をひもとくことで見え方がわかり、また違った側面から同じ作品を味わうことができます。

本展示会では、素材の性質とわざ、デザインの連関に注目して、視覚的な美しさだけではなく味わい深い魅力を紹介いたします。



山本見 《切嵌象嵌接合せ鉢「巖」》 1998年 当館蔵(神田眞道氏・栄子氏寄贈)

茶室

# 沖潤子「anthology」(アンソロジー)

令和2年(2020)4月4日(土)～令和3年(2021)3月28日(日)

# 特選鑑賞室

特選鑑賞室は収蔵する浮世絵版画のなかから名品1点を展示し、じっくりと鑑賞していただくコーナーです。令和2年度は以下の12点をご覧ください。

2020年

4月

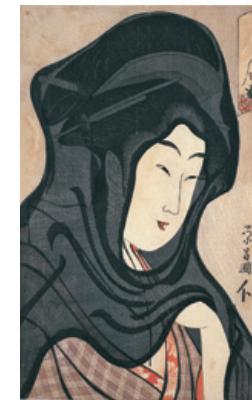


葛飾北斎  
風流無くてななくせ  
遠眼鏡

大判錦絵  
享和期(1801-04)頃

「無くて七癖」は、人には多かれ少なかれ癖があるという意味の諺です。女性が遠眼鏡を覗く姿から、見物して遊び歩くのが好きな物見遊山の癖が描かれているとされています。

5月



鳥高斎栄昌  
お高祖頭巾

大判錦絵  
寛政8年(1796)頃

お高祖頭巾とは、女性が防寒のために用いた被りものことです。「ごま摺」と呼ばれる摺り技法によって、黒い布に包まれた頭がうっすらと透ける様子を再現しています。

6月

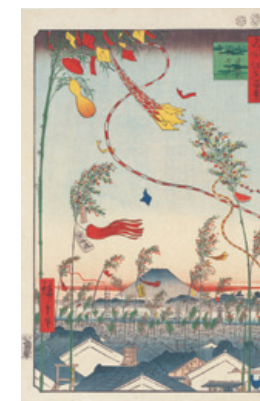


葛飾北斎  
富嶽三十六景  
山下白雨

横大判錦絵  
天保2-5年(1831-34)

富士山のみを大きく描くというシンプルな構図で、不二と称された日本一の山の迫力が伝わってきます。タイトルの白雨とは夕立のことで、山の中腹に雲が湧き、山裾には雷が落ちています。

7月



歌川広重  
名所江戸百景  
市中繁栄七夕祭

大判錦絵  
安政4年(1857)

「名所江戸百景」は全120枚(二代広重が描いた1点と目録を含む)のシリーズで、広重の最晩年の大作として知られます。家々に掲げられた七夕飾りは、風に吹かれて空を漂っています。

8月



東洲斎写楽  
三代目市川高麗蔵  
の志賀大七

大判錦絵  
寛政6年(1794)

寛政6年5月、江戸の桐座で上演された歌舞伎「敵討乗合話」に取材した役者絵です。大七は刀に手を掛けており、殺害の場面を想像させます。

9月



歌川広重

木曾海道六拾九次之内  
宮ノ越  
横大判錦絵  
天保6-14年(1835-43)

宮ノ越は、木曾海道で江戸から36番目の宿です。前景には橋を渡る親子が、遠景には一人の旅人らしき姿が見えます。

10月



鈴木春信  
坐鋪八景  
鏡台の秋月

中判錦絵  
明和3年(1766)頃

「坐鋪八景」は、中国絵画の伝統的な画題「瀟湘八景」になぞらえて日常生活を描いたシリーズです。この作品では「洞庭秋月」が踏まえられ、鏡を月に見立てて描かれています。

11月



東洲斎写楽  
三代目瀬川菊之丞の  
田辺文蔵妻おしづ

大判錦絵  
寛政6年(1794)

寛政6年5月、江戸の都座で上演された歌舞伎「花菖蒲文蔵曾我」に取材して描かれた役者絵です。おしづは病鉢巻を締め、苦渋の姿で描かれています。

12月



溪斎英泉  
美艶仙女香  
はつ雪や

大判錦絵  
文政(1818-1830)中期

南伝馬町三丁目にあった坂本屋の白粉「美艶仙女香」の宣伝をかねた美人画です。「はつ雪や美人のはきの又白し」という句が添えられています。

2021年

1月



鳥居清長  
大坂新町西榎屋  
琴鶴太夫  
りきの ふじの

大判錦絵  
天明6年(1786)頃

大坂の新町は、京の鳥原、江戸の吉原と並ぶ幕府公認の遊郭でした。琴鶴太夫が、二人の禿りきの、ふじのを連れて、客が待つ揚屋に向かう道中の様子が描かれています。

2月



二代歌川広重  
諸国名所百景  
周防岩国錦帯橋

大判錦絵  
安政6年(1859)

初代広重の晩年の大作「六十余州名所図会」や「名所江戸百景」にならって、二代広重が襲名後に制作したシリーズです。初代広重も描いた錦帯橋を、二代広重は雪景色のなかに描いています。

3月



鈴木春信  
腰付馬で遊ぶ男児

中判錦絵  
明和期(1764～1772)

男の子が烏帽子を被り、張子の馬を腰につけて遊んでいます。その後ろから、お付きの女性が日傘を差し掛かっています。



YAMAGUCHI / HAGI · URAGAMI  
PREFECTURAL MUSEUM  
MEMBERS CLUB

2020年度  
県立  
美術館



山口県立美術館

山口県立萩美術館・  
浦上記念館



# メンバーズクラブ会員募集中!

山口市と萩市にある2つの県立美術館(山口県立美術館/山口県立萩美術館・浦上記念館)では、展覧会等を通じて美術に広く親しんでいた  
だき、地域文化の向上に寄与することを目的として、2014年4月に「県立美術館メンバーズクラブ」を設立しました。

7年目となる本年もお得な内容で会員を募集中です。(受付期間7月31日(金)まで)

入会したその日から使えます。皆さまのご入会をお待ちしております。

\*会員特典・入会方法などの詳細については、当館ホームページまたは会員募集チラシをご覧ください。

## 会員特典

入会した  
その日から  
使えます!

### 1 展覧会が5回まで無料!

2館の企画展(特別展示)の中から、お好きな展覧会を5回まで無料、6回目以降は半額でご覧いただけます。  
さらに、普通展示(コレクション展)は何回でも無料でご覧いただけます。

※対象の企画展は「2020年度の企画展(特別展示)スケジュール」(下段)をご覧ください。

- 2 2館の企画展(特別展示)オープニングセレモニーに抽選で10名様をご招待。
- 3 開催中の展覧会図録を特別価格で購入できます。  
※図録価格は各展覧会ごとに異なります。
- 4 2館の展覧会・イベント情報などを自宅にお届けします。
- 5 カフェでのお得な割引・特典をご用意しています。  
※詳しくは各館にてお尋ねください。
- 6 会員限定のイベントに参加できます。
- 7 協賛店でお得な割引・特典を受けることができます。  
※詳しくは各館にてお尋ねください。
- 8 会員証のご提示で、提携施設の入館料が割引になります。  
※詳しくはホームページをご覧ください。

【年会費】一般会員:2,800円 学生会員(19歳以上の学生の方):2,300円 シニア会員(70歳以上の方):1,900円

※学生・教職員の方は、キャンパスメンバーズもご利用いただけます(ただし加盟校の方が対象です)。加盟校、内容は2館のホームページでご確認ください。

【募集期間】2020年4月1日(水)~2020年7月31日(金) 【有効期間】2020年4月1日(水)~2021年3月31日(水)

※山口県立美術館での受付は4月7日(火)からです。

申込書および会員規約は、2館のホームページからもダウンロードいただけます。

## 2020年度の企画展(特別展示)スケジュール

※展覧会の会期・内容は変更となる場合があります。

### 山口県立美術館

### 山口県立萩美術館・浦上記念館

<p><b>ハマスホイとデンマーク絵画</b></p> <p>4/7(火) 6/7(日)</p> <p>グライムヘルム・ハマスホイ (青を向けた若い女性のいる室内) 1903-04年 油彩/カンヴァス ランス美術館 ©Photo: Randers Kunstmuseum</p>	<p><b>奇才</b> -江戸絵画の冒険者たち-</p> <p>7/7(火) 8/30(日)</p> <p>葛飾北斎 (上町御所台天井絵 怒涛図(女流)) 19世紀前半 長野・小布施町・上町自治会蔵</p>	<p>生誕600年記念 <b>雪舟と狩野派</b> (仮称)</p> <p>9/15(火) 10/18(日)</p> <p>雪舟等持(雪舟、山本、室町時代 個人蔵(山口県立美術館寄託))</p>	<p><b>小村雪岱スタイル</b></p> <p>江戸の粋から東京モダンへ</p> <p>10/30(金) 2021年1/3(日)</p> <p>小村雪岱(寛和) 水屋多色 1846年(1941)頃 個人蔵 原安三郎コレクション</p>	<p><b>小原古邨と明治の花鳥画</b></p> <p>4/25(土) 6/21(日)</p> <p>小原古邨(蘭画) 中外産業株式会社 原安三郎コレクション</p>	<p><b>大集合! やきもの どうぶつ展</b></p> <p>7/4(土) 8/30(日)</p> <p>八木一夫(年) 1973年 丸瀬陶芸美術館蔵</p>	<p><b>三輪龍氣生展</b> -行け、熱き胸の想いよ、黄金の翼に乗って。-</p> <p>9/12(土) 12/20(日)</p> <p>三輪龍氣生(白昼夢) 2019年 個人蔵</p>
---	--	---	---	--	---	---

【お問い合わせ】 開館時間9:00~17:00

山口県立美術館 〒753-0089 山口市亀山町3-1 TEL 083-925-7788 FAX 083-925-7790 URL <https://www.yma-web.jp/>

山口県立萩美術館・浦上記念館 〒758-0074 萩市平安古町586-1 TEL 0838-24-2400 FAX 0838-24-2401 URL <https://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/>

## 2019年メンバーズクラブ会員限定イベントレポート

1年間を通じてメンバーズクラブ会員限定イベントを開催しました。その様子をご紹介します。

### 「平木コレクション にゃんとも猫だらけ」展プレミアムギャラリートーク (10/6) 参加者:25名



全国的にも珍しい取り組みとなる展示室内における学芸員のトークを交えた等の演奏会を開催。室内に響く箏・三味線の音色で浮世絵版画の展覧会が印象深いものとなりました。

### 「岸田劉生」展と「平木コレクション にゃんとも猫だらけ」展 県立美術館2館の美術鑑賞会 (11/9) 参加者:39名



展覧会へは行きたいけれど、両方の美術館に向くのが大変で…。との声に答えるために企画された貸切バスで1日のうちに2館をめぐる鑑賞会。参加された皆様は両館で学芸員の解説を聞くことで、作品への理解と印象を深められたようでした。

### シンフォニア岩国「生で聴く“のだめカンタービレ”の音楽会」公演鑑賞会 (10/13) 参加者:61名



好評につきバス2台での開催となりました。萩美術館・浦上記念館から山口県立美術館を経由してシンフォニア岩国に到着。コンサートホールでのクラシック演奏をお楽しみいただきました。映像による原作の名シーンの再現もありドラマ・アニメで大人気の“のだめ”の世界を堪能していただきました。

New!

## 「県立美術館メンバーズクラブ」の会員特典がさらに充実します。

多くの皆様にお楽しみいただいている「県立美術館メンバーズクラブ」。2020年度よりさらに会員特典が1つ増え、以下の提携館において会員カードのご提示でお得な割引・特典を受けることができます。さらに会員特典が充実した「県立美術館メンバーズクラブ」をぜひご利用ください。皆様のご入会をお待ちしております。

### 提携館一覧

提携館	所在地	対象	割引内容
サントリー美術館	東京都港区	本人	100円割引
DIC川村記念美術館	千葉県佐倉市	本人	団体割引
植田正治写真美術館	鳥取県西伯郡伯耆町	本人	団体割引
足立美術館	島根県安来市	本人 ※大人のみ	100円割引
島根県立美術館	島根県松江市	本人	団体割引 ※主な企画展
島根県立古代出雲歴史博物館	島根県出雲市	本人	常設展 団体割引 企画展 1割引
島根県立石見美術館(島根県芸術文化センター「グラントワ」)	島根県益田市	本人	団体割引
ひろしま美術館	広島市中区	本人	団体割引
広島県立美術館	広島市中区	本人	団体割引(特別展のみ)
広島市現代美術館	広島市南区	本人	団体割引
尾道市立美術館	広島県尾道市	本人	団体割引 特別展 100円割引 企画展 50円割引
愛媛県美術館	愛媛県松山市	本人	コレクション展…団体割引 企画展…企画展による

サービスをご利用される際は、必ずカードをご持参ください。割引内容は変更になる場合があります。詳しくは各館にお問合せください。

## 法人サポーターズ制度がスタート。



法人サポーターズは、山口県立美術館および山口県立萩美術館・浦上記念館が行う文化芸術活動の充実強化を、地域の法人および個人事業主のみならずサポートしていただくことを目的に設立する会員制度です。なお会員特典は、従業員のみならずの福利厚生やお世話になっている方へのプレゼントとしてご活用いただけます。

### 年会費(税込)

プラチナ会員 1口 10万円 ※プラチナ会員は最大5口まで  
ゴールド会員 1口 5万円

・有効期間 2020年4月1日(水)~2021年3月31日(水)  
※今年度の受付は終了しました

### 会員特典

- 1 会員証提示で企画展・普通展示が2名様まで無料!
- 2 企画展共通招待券を贈呈!  
※プラチナ会員は各館50枚ずつ、ゴールド会員は各館20枚ずつ
- 3 企画展開会式にご招待!  
※プラチナ会員のみ
- 4 展覧会やイベント情報をご案内!
- 5 貴社名を館内※やホームページでご紹介!  
※プラチナ会員のみ